



私の勤務する病院は岡山県の
県北、鳥取県との県境に位置す
る鏡野町にあります。全国的に
有名な観光地もないため、若者
の定住を目的にスイスの教育学
者ペスタロッチにちなんで「ペ
スタロッチタウン鏡野」をキャ
ッチフレーズとして、子どもの
教育に力を入れています。

心細かった機器類

私が赴任した当時、病院の検
査機器で備えられていたのは心
電計、レントゲン装置くらい。

信頼される総合医目指す

超音波、内視鏡はありませんで
した。入院患者さまに二十四時
間持続点滴を指示しようものな
ったのだ」と思う気持ちが強く

ら、看護師さんから文句を言わ
れ、「何という病院に来てしま
ったのか」と思う気持ちが強く

をやってみようと思い、半年か

けて超音波装置と上部内視鏡一
本を購入してもらいました。そ
の結果、胆石、胃がんが多く発
見され、自治医大卒業生の追加
派遣も認めてもらえました。

小児診療にも力

が残ってくれて大いに助かって
います。

24時間体制を整備

八九年に病院が新築移転した
のを機に、地域の方々に「いつ
でも診てもらえる」という安心
感を与えることも大切と考え、

小児から高齢者まで二十四時
間、三百六十五日対応すべく体
制を整えてきました。

お互いにアドバイスを受けな
がらですが、夜間、休日には整
形外科医が発熱の子どもを診察
し、内科、小児科医が外傷の縫
合や骨折の簡易固定をしていま

す。もちろん院内で対応できな
い場合は近隣の病院をお願いし
ています。

幸いにも、当院には派遣され
た後も町職員として三人の後輩

私は小児科中心の総合医とし
て患者さまを診ていますが、研
修時代の恩師の影響と、岡山大
の小児神経科で勉強させてもら
った経験から、小児の神経、精
神疾患にも目が向いてしまいま
す。

当地のような田舎でも、てん
かん、重度発達障害、不登校、
自閉症の児童などに、まれなら
ず遭遇します。

当病院には臨床心理士などの
専門職はいませんが、患児、両
親と時間をかけて話をし、聞
く。そうすることで、少しでも
不安や疑問が解消できるようア
ドバイスし、必要なら専門医の
いる病院、施設への橋渡しをし
ています。

また、講演などを通じて地
域、学校でそのような子どもを
見守り育てる手助けをしたいと
考えています。

(次回予定は徳島県)

にしばやし なおひろ
西林 尚祐 2期生・1979年卒



みずの郷・奥津湖(苫田ダム)。2005年3月完成。湖岸で花火大会も催され鏡野町の新名所となっている

鏡野町健康保険病院

【私の勤務地】2005年3月、旧苫田郡4町村(鏡野町、奥津町、富村、上斎原村)が合併し鏡野町となる。人口約1万5000人、年間出生数80人、高齢化率32%の農山村である。鏡野町健康保険病院は、旧鏡野町にあり一般48床、療養40床がある。